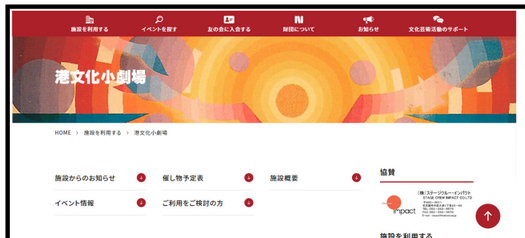
令和4年6月 港文化小劇場催し物のご案内

開催日	催事名	開催時間	問い合わせ先	入場料
9日（木）	みんなとみなとコーラス（練習）	16:00～	港文化小劇場 052-654-8214	練習受講料 500円/回
23日（木）	みんなとみなとコーラス（練習）	16:00～	港文化小劇場 052-654-8214	練習受講料 500円/回
25日（土）	株式会社名港葬儀 連携公演 港文化小劇場施設事業 ほむら ～革新への挑戦～	開演　14:00 終演　15:40	港文化小劇場 052-654-8214	全自由席　1,000円 友の会会員（前売のみ）・障害者手帳をお持ちの方900円
26日（日）	第72回 諸流尺八合同競演会	開演　9:45 終演　19:00	正和会 052-692-6078	無料 （どなたでも入場可）

※　予期なく主催者の都合により記載内容が一部変更になることがあります。
※　催し物の時間・内容が変更されることがありますので、詳細は各主催者にお問い合わせ下さい。

◆◆◆ 施設をご利用のみなさまへ ◆◆◆



より見やすく、より分かりやすく
港文化小劇場のホームページが、
大幅リニューアルしました。
早速右のQRコードを読み込んで
アクセスしてください。
Facebook・twitterへのリンク
もございます。

港文化小劇場

名古屋市港区港楽二丁目10番24号
TEL　052−654−8214
FAX　052−654−8215
■受付時間
休館日を除く　9：00～20：00
日曜日、祝日は9：00～17：00
（web上による先着順仮受付は24時間）
■休館日
月曜日（休日の場合は翌平日）

【交通アクセス】

・地下鉄名港線「港区役所」駅
１番出口より南へ徒歩３分

・あおなみ線「稲永」駅より、
市バス港区役所行き「港郵便局」
バス停すぐ

フェイスブックやってます。
「いいね」「シェア」での
ご協力お願いします。

「友の会」会員募集中！
http://www.bunka758.or.jp/

さまざまな公演イベント情報を配信！
mag@bunka758.or.jp
ご希望の方は携帯・PCから空メール（件名・本文なしのメール）を送って読者登録してください。
メルマガ会員募集!! ブンカなごや情報 購読無料

この印刷物は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

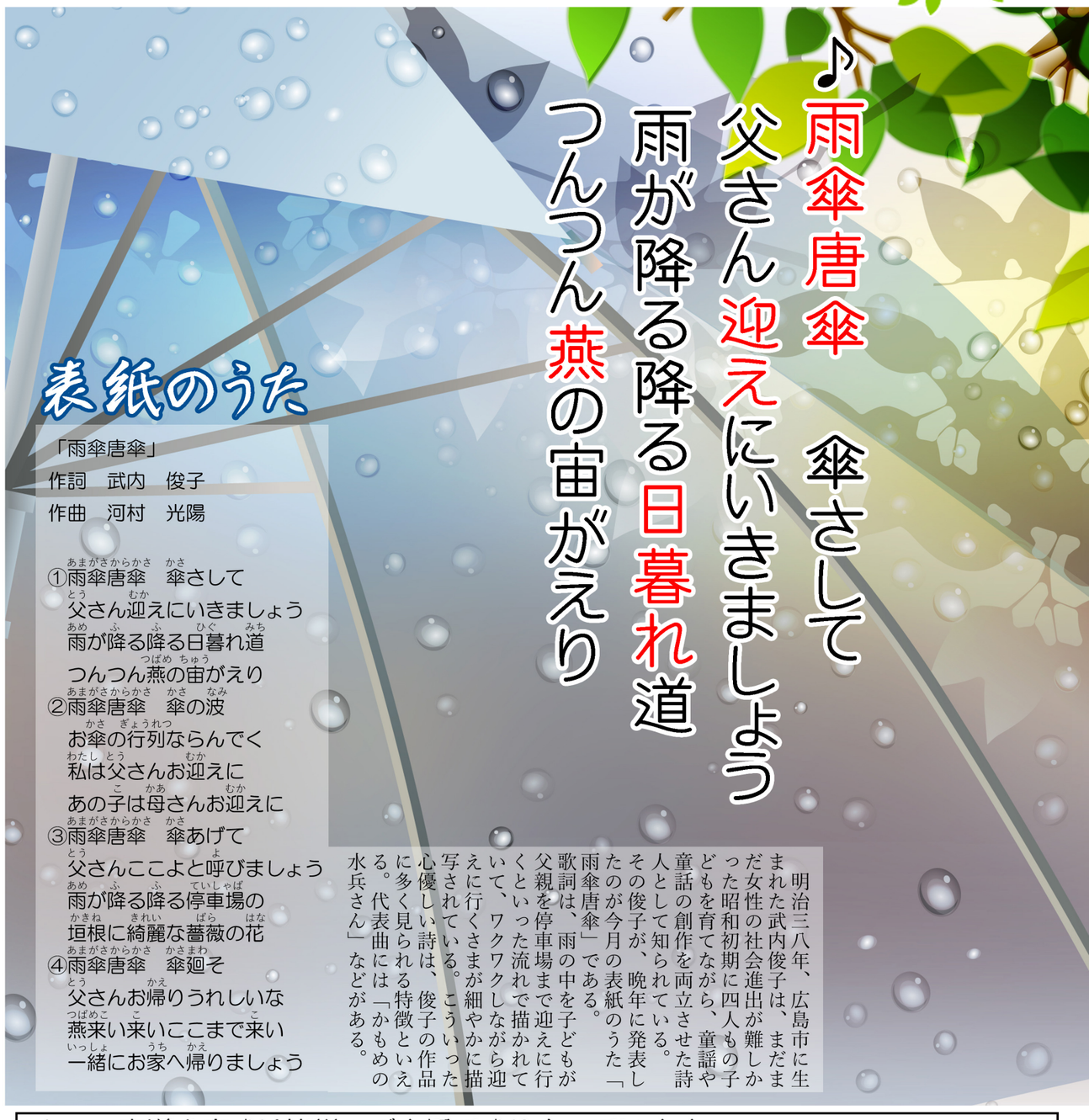
小さな自宅家族葬のことなら自由なお葬式へお任せください
自宅火葬式　自宅一日式　自宅家族式
0120-17-1885
故人と家族だけの
尊き時間を大切に
MEIKOU SOUGI
自由なお葬式
カタチにとらわれない心のご葬送

みんなとみなとコーラスメンバー募集中!!
くわしくは港文化小劇場
(052)654-8214まで
お気軽に!!

港文化小劇場情報

みんなと通信

2022年 6月



♪雨傘唐傘　傘さして
父さん迎えにいきましょう
雨が降る降る日暮れ道
つんつん燕の宙がえり

表紙のうた

「雨傘唐傘」
作詞　武内　俊子
作曲　河村　光陽

①雨傘唐傘　傘さして
父さん迎えにいきましょう
雨が降る降る日暮れ道
つんつん燕の宙がえり
②雨傘唐傘　傘の波
お傘の行列ならんでく
私は父さんお迎えに
あの子は母さんお迎えに
③雨傘唐傘　傘あげて
父さんここよと呼びましょう
雨が降る降る停車場の
垣根に綺麗な薔薇の花
④雨傘唐傘　傘廻そ
父さんお帰りうれしいな
燕来い来いここまで来い
一緒にお家へ帰りましょう

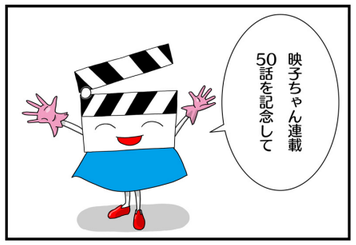
明治三八年、広島市に生まれた武内俊子は、まだまだ女性の社会進出が難しかった昭和初期に四人もの子どもを育てながら、童謡や童話の創作を両立させた詩人として知られている。その俊子が、晩年に発表したのが今月の表紙のうた「雨傘唐傘」である。歌詞は、雨の中を子どもが父親を停車場まで迎えに行くといった流れで描かれていて、ワクワクしながら迎えに行くさまが細やかに描写されている。こういった心優しい詩は、俊子の作品に多く見られる特徴といえる。代表曲には「かもめの水兵さん」などがある。

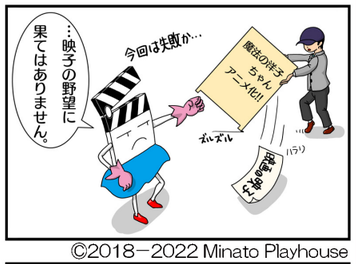
盲導犬育成は皆様のご支援で成り立っています。
会費会員募集中！！（税額控除を受けられます。）
社会福祉法人中部盲導犬協会
電話番号：052-661-3111
http://www.chubu-moudouken.jp/

カーエンジニアの総合学校　入学生募集中！
〒455-0015　名古屋市港区港栄 1-7-12　TEL　052-653-4123
学校法人 日産学園
専門学校 日産愛知自動車大学校
港区役所駅から徒歩 1 分

映画の映子ちゃん(50)

記　念





©2018−2022 Minato Playhouse

スマホでアクセス
映子のお気に入り

劇場版
からかい上手の高木さん

2018年にテレビアニメが始まると、あっという間に人気作品となり、今年1月からは3期シリーズが放映された。屈託ない笑顔が魅力的な高木さんにからかわれ続ける毎日だった西片は、いつしか自分の心の中にある淡い思いに気が付いてしまいます。

これは、ひと夏に起こる、
ちいさくて、やさしい青春物語

2人の「ニヤキュン」な物語がついに劇場の大きなスクリーンで楽しめます。劇場版からかい上手の高木さんは、6月10日（金）全国の映画館で上映開始されます。

※感染拡大防止のため予期なく上映開始日が変更になることがあります。

© 2022 山本崇一朗・小学館／劇場版からかい上手の高木さん製作委員会

株式会社名港葬儀　連携公演　港文化小劇場施設事業

ほむら

～革新への挑戦～

RENの新たな表現がここに

6月25日（土） 14:00 開演（13:30開場）

入場料 1,000円［全席自由］
友の会会員（前売のみ）、障がい者手帳をお持ちの方（本人と付添1人まで）900円
※お席は1席ずつ空けてご案内させていただきます。

出演

Japanese Drums REN

梅村 幸生　池田 みほ　畑中 宏行
河村 浩介　辻 雄斗

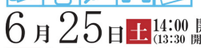
愛知県尾張旭市を拠点に活動する和太鼓演奏チーム。
1999年1月、愛知県で活躍する和太鼓仲間が名古屋を中心に集まり結成される。
RENとは、常に誰生、誰直にして練成練磨、技術上達の修練に取り組み、
連帯を重んじ練達を目指す、との心意気を響きに込めて名付けられた。
和太鼓奏者 橋本光弘氏(元 鬼太鼓座)に師事し、各種イベント参加や定期的な
自主公演、東日本大震災復興支援チャリティーコンサート[絆LIVE]を主催する
など活動に力を注いでいる。

ゲスト出演　浅野 聡太
和太鼓奏者の梅村幸生氏に師事、2010年～2018年 REN に在籍。
2015年、『ZI-PANG』にてプロデビューし、同時にソリストとしても
国内外で幅広く活動をする。

お問合せ
港文化小劇場 TEL052-654-8214

主催　株式会社名港葬儀(めいこうらくぶ)
（公財）名古屋市文化振興事業団[港文化小劇場]

以下の感染対策にご協力下さい。



6月25日（土） 14:00 開演（13:30 開場）

入場料 1,000円［全席自由］

［主催］株式会社名港葬儀(めいこうらくぶ)
［協賛］名古屋市文化振興事業団［港文化小劇場］

港文化小劇場と連携し、地域と共に歩む。
少数家族葬から一般参列葬まで低価格のことなら
めいこう (株)名港葬儀 ☎052-931-1955

チケット取扱【チケット発売：4月5日（火）】
●港文化小劇場 …… TEL 052-654-8214
（9:30開～17:00閉 ※当館休日（毎月の第2水曜日）・年末年始（12/29～1/3）休館）
●名古屋市文化振興事業団チケットガイド …… TEL 052-249-9387
（平日9～19時／チケット販売窓口）
※名古屋市内の劇場、名古屋市文化振興事業団が管理運営する文化施設窓口でも
お求めいただけます。（ご事前連絡や休入りします。ウェブサイトでご確認下さい。）
●電子チケット「teket」（クレジットカード・コンビニ払い対応）
購入はQRコードから　teket

地下鉄で栄から1分、金山から8分
「港区役所」駅 徒歩3分
港文化小劇場　TEL052-654-8214
【交通アクセス】※自家用車乗降場はご利用いただけません。
●地下鉄名港線「港区役所」駅1番出口より、南へ徒歩3分
●名古屋市営バス「港区役所」
市バス港区役所行き「港新堀尻」下車すぐ

毎号読んでいただきありがとうございます。先月は母の日、今月は父の日がありますね。

6月の第3日曜日が父の日ですが、今年は6月19日がそれにあたります。

皆さんはお父さんにどんなことをしてあげてますか？子供の頃なら、肩たたき券やハンカチ、ネクタイなどをあげた人もいるのではないでしょうか。私も子供の頃はハンカチをあげた覚えがあります。

お互い歳を重ね、私の父も後期高齢者の仲間入りをしましたので、どのようなものが喜ばれるのか、悩んでしまいます。ただ、お酒は好きなので、普段自分では買わないようなお酒をプレゼントすれば、喜んでくれるのではないかと思いますので、今年の父の日には少しだけ高級なお酒をプレゼントしようと思っています。

あと何年居てくれるかはわかりませんが、生きているうちに、できる限り親孝行したいと思います。

会場は港文化小劇場ですよ。

みんなとみなとコーラス 6月の練習日

6/9(木), 23(木)
各回16:00～17:30

くわしくは劇場へお問い合わせ下さい。
（052）654−8214

名古屋市港文化小劇場　ホール競合受付 練習室先着受付　のご案内

港文化小劇場のホールは、文化活動を目的としたご利用の場合1年前からお申し込みが可能です。また練習室単独でのご利用の場合は、使用する月の2ヶ月前からお申し込みできます。

◆ホール競合受付　令和5年　6月分：
令和4年6月1日（水）～6月5日（日）
（期間中の休館日はございません）
◆練習室先着受付　令和4年　8月分：
令和4年6月1日（水）午前9時より先着申し込み

7月の港文化小劇場

津軽三味線コンサート2022
「宴」（うたげ）

大迫力の津軽三味線コンサートがついに、港文化小劇場に帰って来ました。愛知県を中心に活動する若武者たちによる三味線と民謡の競演です。圧巻のステージをお楽しみ下さいませ。

出演　杉山大祐・佐藤史織・燦鳴のZANZAR!・佐久間翔太・加藤弘治・小澤淳也・土田真由美・村田美穂子・名古屋西高校津軽三味線部『音見習』
開催　7月9日（土）
13時30分開演
料金　全指定席　1500円
チケット　5月10日（火）発売
問合せ　港文化小劇場
（052）654−8214

みなとシネマ
～なつかしの邦画特集～
「伊豆の踊子」

日本人初となるノーベル文学賞を受賞した川端康成の名作文学を日活が映画化した作品です。踊子・薫を初々しさが漂う吉永小百合が演じている。監督は、後に山口百恵・三浦友和でも同作品のメガホンを握っている西河克己。

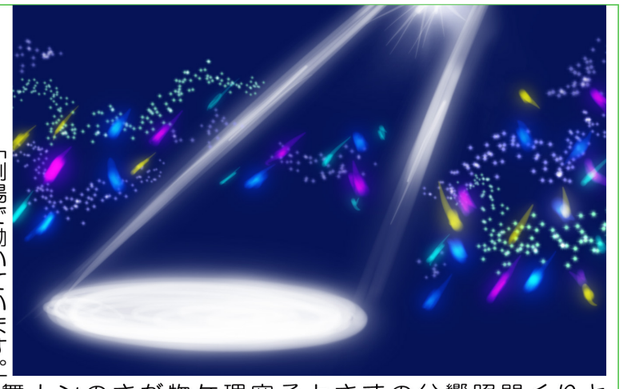
「伊豆の踊子」
1963年　日活
開催　7月13日（水）
①　10時30分開演
②　14時00分開演
料金　500円
（全指定席）
電話での予約可
問合せ　港文化小劇場
（052）654−8214

©日活

夏休み子ども向けワークショップ開催決定！
お楽しみに…

みんなとみなとのコラム

『劇場で働くということ』



「劇場で働いています。」というと、若いころは「ああ、受付ですか。」などと返されることもありました。

「裏方の仕事をしています。」というと、「ああ、照明とかの？」と。「照明」という仕事は皆さま思い浮かべやすいようです。

劇場で働いている人間は一体何をしているのか？当事者もなかなか伝えづらいものです。同じ劇場にいても、裏方が何をしているのかその実、わかっている人はどれほどいるでしょうか。劇場にある機材は専門性が高く、例えば照明ひとつとってもスイッチを押せばつく、という単純なものではありません。舞台上を明るくムラなく照らすにも専門知識と技術が必要です。照明以外にも、舞台、音響、映像など様々な専門分野があって、それぞれの技術屋が存在しています。それらの技術が合わさって一つの催物を作り上げていくのです。

それ以外にも、劇場には空調や電気など設備を管理する人、受付事務やチケットを販売する人、催物を企画運営する人などがいて、出入りの看板屋さん、花屋さん、ピアノの調律師さん、ケータリングの人などたくさんの人がそれぞれの持ち場で舞台に立つ人々を支えています。式典や講演会など、芸術とは関係なさそうな催物でも、やはりこれらの技術抜きでは成り立つものはないのです。

そして決して忘れてはならないことは、ここで働く者にとっては日常でも、お客様にとっては非日常。「舞台に立つ」「舞台をみる」という経験は人生でそうそう何度もあるわけではありません。もしかしたらお客様にとって「人生一番の晴れ舞台かもしれない。」ということを肝に銘じて、今日も劇場でお待ちしております。

（ささき）